

## 第 56 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会 議事録

日 時：2026 年 4 月 24 日（金） 14：00～16：25

形 式：オンライン会議（Zoom）

場 所：（ホスト会場）薬学教育協議会事務局

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

議事に入る前に今年度交代のあった文部科学省の担当者と復職した事務局員の紹介と自己紹介があった。

### ○報告・協議事項

#### 1. 支部長の交代について（資料 1）

本年度の支部長の紹介と、新任および交代される先生方の自己紹介があった。

#### 2. 2025(R7)年度 第Ⅳ期実務実習報告および良い事例の報告（資料 2）

資料 2 に基づき、各地区支部長が 2025(R7)年度第Ⅳ期の実務実習について、良い事例の報告とトラブル報告を含め実務実習の報告を行ない、委員間で情報共有した。

病院でのハラスメント事例が少なくなっているように感じるとの意見が複数の支部長からあった。また、AI の活用方法やそれに関連して個人情報の取り扱いなどについての報告があり、今後大学ではより指導が必要であるとの意見が出された。

良い事例の活用について意見交換を行ない、今後、さらに活用できるように各事例が学生からの意見なのか、大学の意見なのか、受入施設側の意見なのか区別し、本委員会での資料は Excel ファイルで配付することとなった。

#### 3. 認定実務実習指導薬剤師養成研修委員会の報告（資料 3）

資料 3 に基づき、講習会およびワークショッププログラムの改訂内容について平田委員（認定実務実習指導薬剤師養成研修委員会委員長）が説明した。主な内容は以下のとおり。

- 更新申請者のための講習会は 2025(令和 7)年 10 月から改訂プログラムによる更新講習会を実施しているが、新規申請者のための講習会の内容改訂に合わせて一部変更を予定している。
- ワークショップのプログラム改訂が完了し、4 月 5 日にその内容を各地区の WS 担当者に向けて伝達するための講習会（伝達講習会）を開催した。
- 新規講習会および変更後の更新講習会は 2026(令和 8)年 10 月から、ワークショップは 2026(令和 8)年 5 月から改訂プログラムでの実施を予定している。

また、今後について以下の内容を確認した。

- 講習会受講からなるべく間を開けずにワークショップを受講する。（現在、各地区でその取り組みを始めている）

- 懇親会（情報交換会）への参加については、現在は「任意」であって必須ではない。
- OBE のためのアドバンスワークショップについては、前回のモデル・コア・カリ改訂のときと同様に、AWS の受講は更新講習会を受講したものとみなすとする予定であるが、今後、その具体的な指針、方策等について養成研修委員会において検討し、改めて通知をする。

#### 4. 認定実務実習指導薬剤師の認定業務に関する報告（資料 4）

資料 4 に基づき、事務局が 4 月 20 日時点での認定申請と審査状況を報告した。

また、認定実務実習認定制度実施要領の改訂までのスケジュールについて説明した。2027 年 4 月上旬にシステム改修およびデータ移行のため 1～2 週間程度申請を一時停止する予定である。

#### 5. 薬学実践実習に関するアンケート調査について（資料 5）

資料 5 に基づき、本間代表理事が薬学実践実習に関するアンケート調査（医療提供施設向け）について説明した。地区独自のアンケートフォームを使用している地区の集計結果については、協議会本部への情報共有を依頼した。また、薬学実践実習に関するアンケート調査（大学向け）については、現在集計中のため、追って結果を報告すると本間代表理事が発言した。

#### 6. その他

- 新薬剤師養成問題懇談会の報告（資料 6）

新薬剤師養成問題懇談会からの依頼に基づき、薬学教育協議会において、臨床実習（実務実習と実践実習）の実習費について議論をすることになったと本間代表理事が報告した。

- 他地区での実習について

江川委員（九州・山口地区支部長）より具体的なふるさと実習の事案について、問題提起された。近畿地区所属の薬学系大学（DJ 大学）と九州の O 大学との連携・協力協定に基づき、近畿地区所属の DJ 大学の学生が、九州・山口地区の O 大学病院薬剤部で実務実習を行う予定であるという事案であった。本件が、事前に九州・山口地区調整機構を介していないこと、九州・山口地区出身の学生ではないこと、病院実習のみを行う予定であることから、九州・山口地区としては認めることはできないとの意見であった。これに対して、意見交換を行なった。その結果、今回の事案については九州・山口地区での審議結果である「当該実習を認めることはできない」との回答が了承された。

一方、近畿地区から、今後「大学が近畿地区以外の施設と実務実習に関する協定等を締結した場合」の対応策について提案された。この提案については、内容を整理して、本委員会の席上で改めて議論させていただきたいと本間代表理事から発言があった。

以上

## 別記 1

## 第 56 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	平野 剛	○
東北地区調整機構	富岡 佳久	○
関東地区調整機構	中村 智徳	○
北陸地区調整機構	石川 和宏	欠
	田口 雅登	代理出席
東海地区調整機構	松浦 克彦	○
	中村 暢彦	オブザーバー
近畿地区調整機構	角山 香織	○
中国・四国地区調整機構	四宮 一昭	○
九州・山口地区調整機構	江川 孝	○
日本薬剤師会	渡邊 大記	欠
	長津 雅則	欠
	山田 武志	代理出席
日本病院薬剤師会	和泉 啓司郎	○
	石井 伊都子	欠
日本保険薬局協会	原 正朝	○
薬学教育協議会本部	平田 收正	○
	本間 浩	○
日本チェーンドラッグストア協会 (オブザーバー)	本橋 勝	○
文部科学省高等教育局医学教育課	降籟 みを	○
	甲山 宏行	○
	一ノ瀬 喬士	欠
	岡本 まとか	○
厚生労働省医薬局総務課	木下 徳康	欠

**別記 2** 配付資料

＜配付資料＞

資料 1： 2025(R7)年度支部長名簿

資料 2-1： 2025(R7)年度 第IV期実務実習の良い事例報告

資料 2-2： 2025(R7)年度 第IV期実務実習に関わる各地区の報告書

資料 3-1： 新規および更新講習会、薬学教育者ワークショップのプログラム改訂について

資料 3-2： 改訂版ワークショップ伝達講習会 プログラム

資料 3-3： 認定実務実習指導薬剤師に関わる年間スケジュール

資料 4-1： 認定実務実習指導薬剤師 申請・審査状況等

資料 4-2： 実施要領（改訂版）の適用までのスケジュール

資料 5： 薬学実践実習に関するアンケート調査（医療提供施設向け）スケジュール

資料 6： 新薬剤師養成問題懇談会議事次第

参考資料： 第 55 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録